

猫の飼育者に対する 猫の問題行動に関する意識調査

東京農工大学 人と動物の共生社会推進プラットフォーム
2023年3月

この調査は、東京都の大学研究者による事業提案制度採択事業「大学と自治体、企業、NPOの協働による高齢者の福祉向上を目指した動物との共生社会の実現と拠点形成」により東京農工大学が行いました。



1.調査について

東京農工大学の人と動物の共生社会推進プラットフォームは、猫と暮らす方により良い情報を提供するために、猫と暮らしている方に対し、現在の猫の飼育状況、猫との暮らしの中で特に問題行動に対して困っていることに関してアンケート調査を行った。

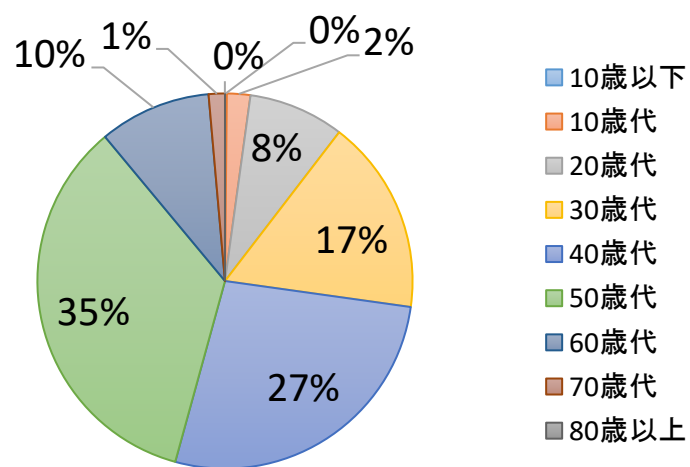
回答者数: 643名 (うち、男性87名、女性547名、回答なし7名)

調査期間:2020年10月末から2021年7月末まで

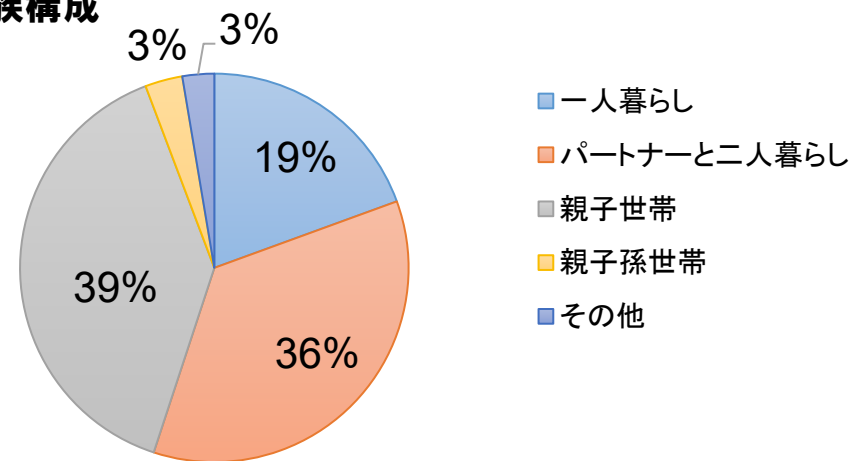
調査方法:東京都獣医師会に所属するA会員病院636件に対してアンケートのポスター提示を依頼、来院者がQRコードを読み取ることによりWeb上から回答

回答者属性

回答者年代

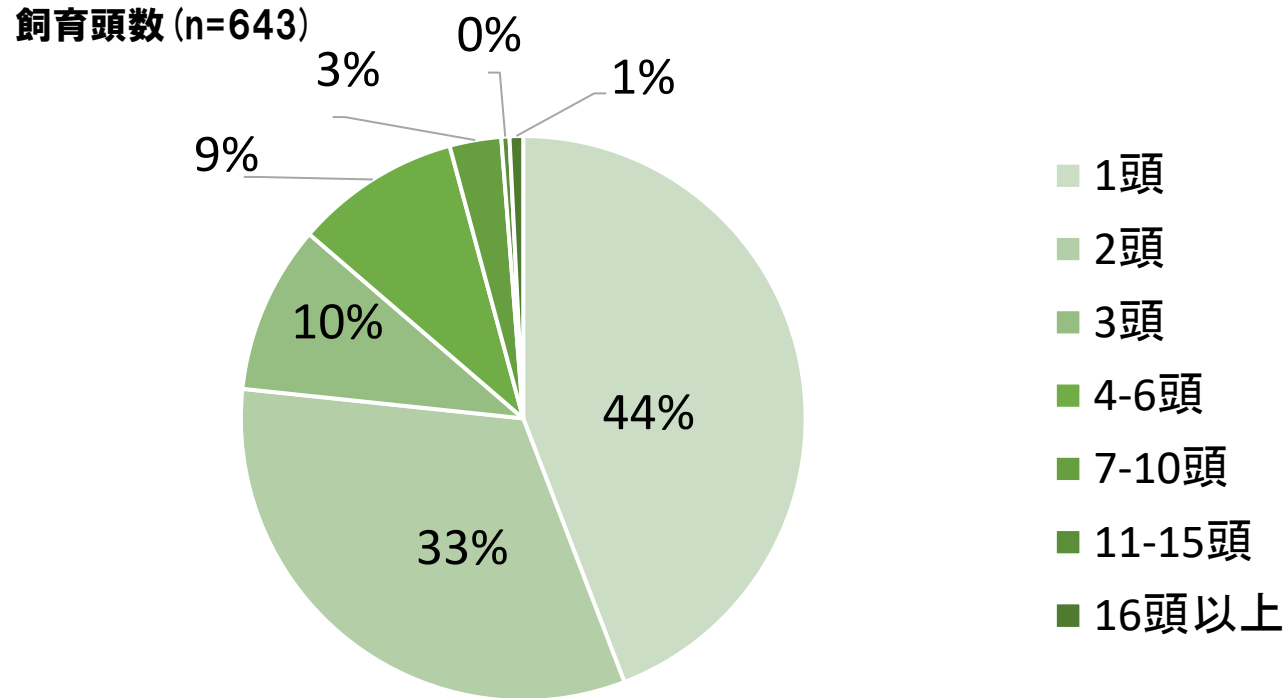


家族構成



2.回答結果①

何頭猫を飼っていますか？

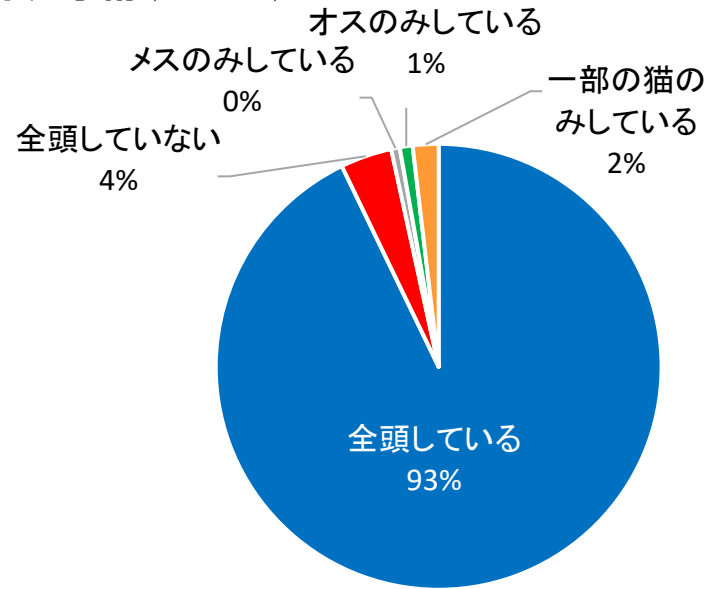


各家庭での飼育頭数は1頭を飼育している回答者が最も多く284名であった。2頭飼育者は209名で、3頭以上飼育している方も150名と多く、11頭から15頭飼育している人3名、16頭以上の人も5名いた。

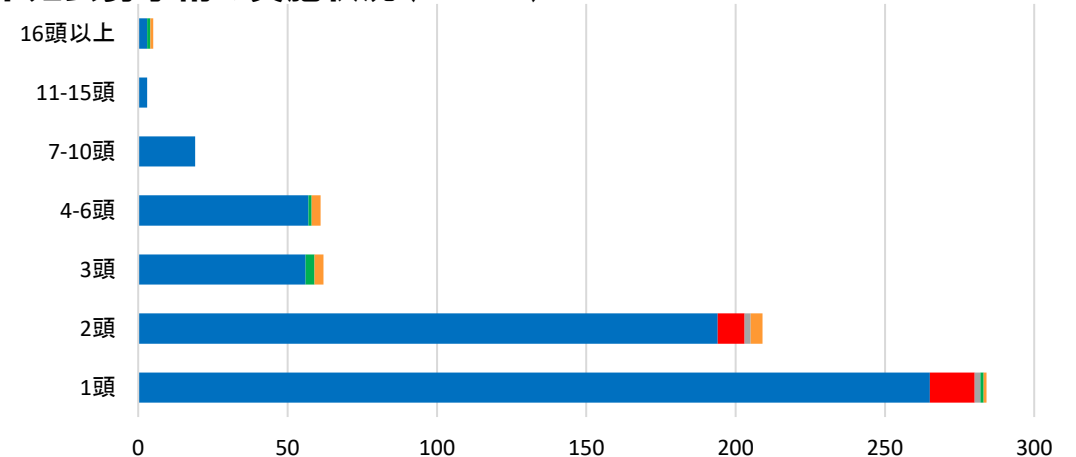
2.回答結果②

避妊手術または去勢手術はしてありますか？

不妊手術 (n=643)



飼育頭数と不妊去勢手術の実施状況 (n=643)



	1頭	2頭	3頭	4-6頭	7-10頭	11-15頭	16頭以上
■ 全頭している	265	194	56	57	19	3	3
■ 全頭していない	15	9	0	0	0	0	0
■ メスのみしている	2	2	0	0	0	0	0
■ オスのみしている	1	0	3	1	0	0	1
■ 一部の猫のみしている	1	4	3	3	0	0	1

93%の回答者がすべての飼育猫の不妊手術をしているが、16頭以上飼育している方で、オスのみしている、一部の猫のみしている、と回答した数が各1あり、動物病院に通っている意識の高い飼い主でも本結果があるのであれば、不妊手術をしないで猫を飼育している人はもっと多く、我々はもっと猫の多頭飼育者への不妊手術の徹底を促さないといけないのかもしれない。

2.回答結果③

猫をどこで飼っていますか？

	回答数	割合
完全屋内で自由にさせている	600	93.3%
屋内のケージの中だけ	3	0.5%
主に屋内だが外にも出す	11	1.7%
主に外だが屋内にも入れる	1	0.2%
完全に外	0	0.0%
室内飼いの猫と外飼いの猫の両方がいる	7	1.1%
その他	21	3.3%

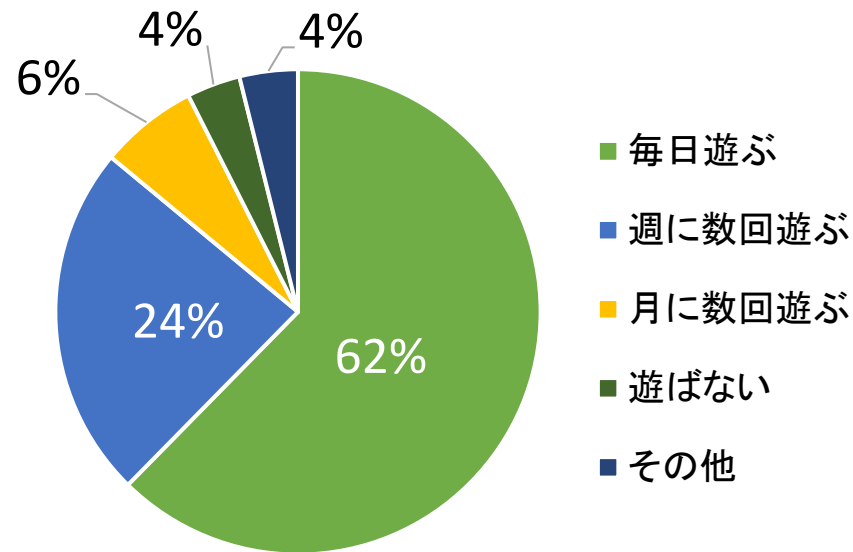
猫の飼育場所は93%が完全室内飼育をさせていた。昔のように外にも自由に出すスタイルは11名しかおらず、猫の室内飼育に対する意識の変化はみられるが、本アンケートは動物病院に来る人に対してであるため意識の高い人が多いと考える。

2.回答結果④

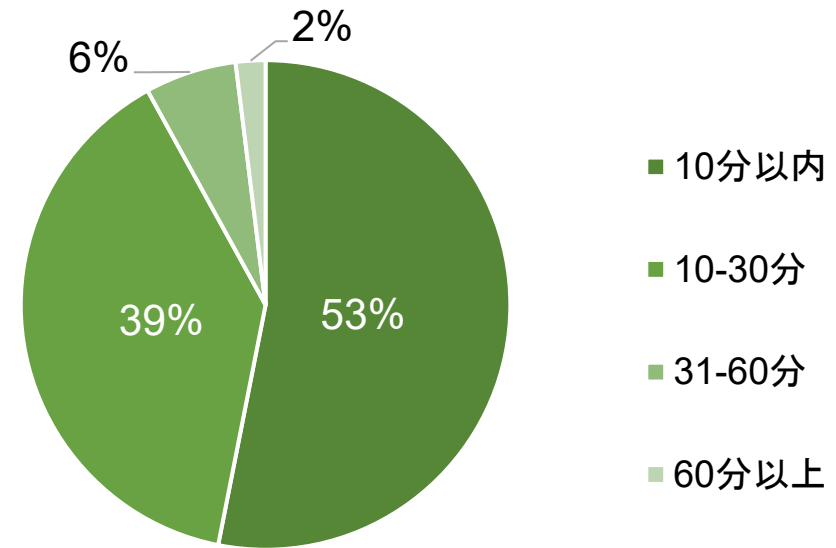
猫と遊びますか？

猫と遊ぶ方いらっしゃいます。猫と遊ぶ時間は1回どれくらいですか？

猫と遊びますか (n=643)



1回で猫と遊ぶ時間 (n=612)



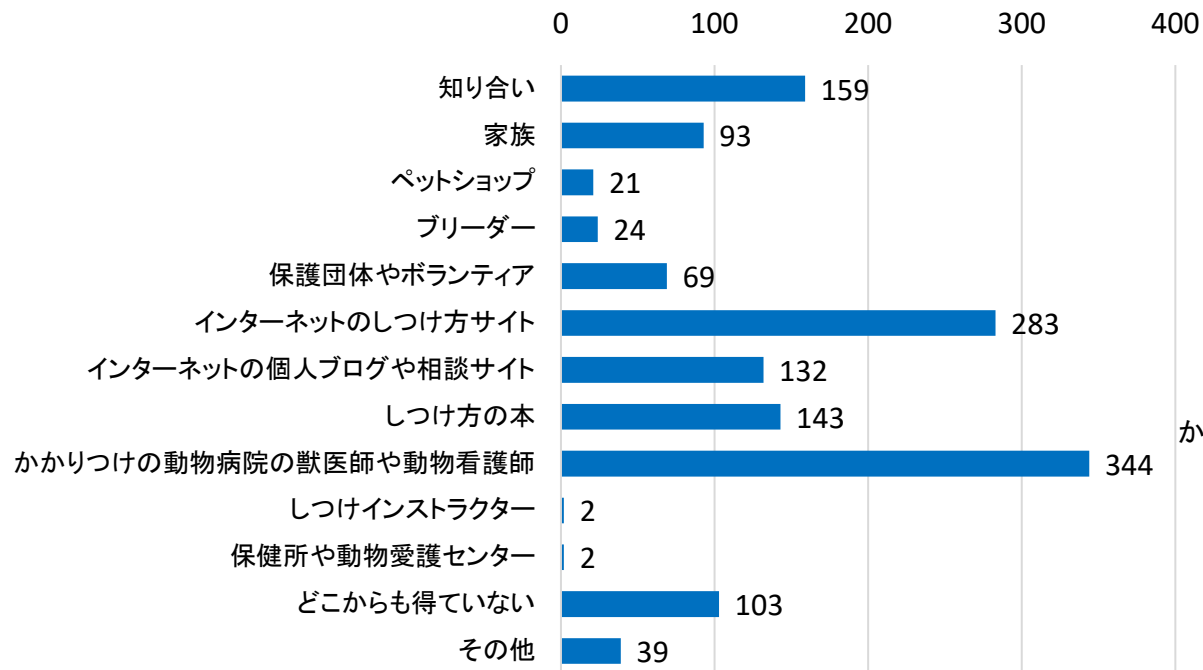
猫との遊びに関して毎日遊んでいる人が62%を占め、ほとんどの人が1日10-30分遊んでいた。

2.回答結果⑤

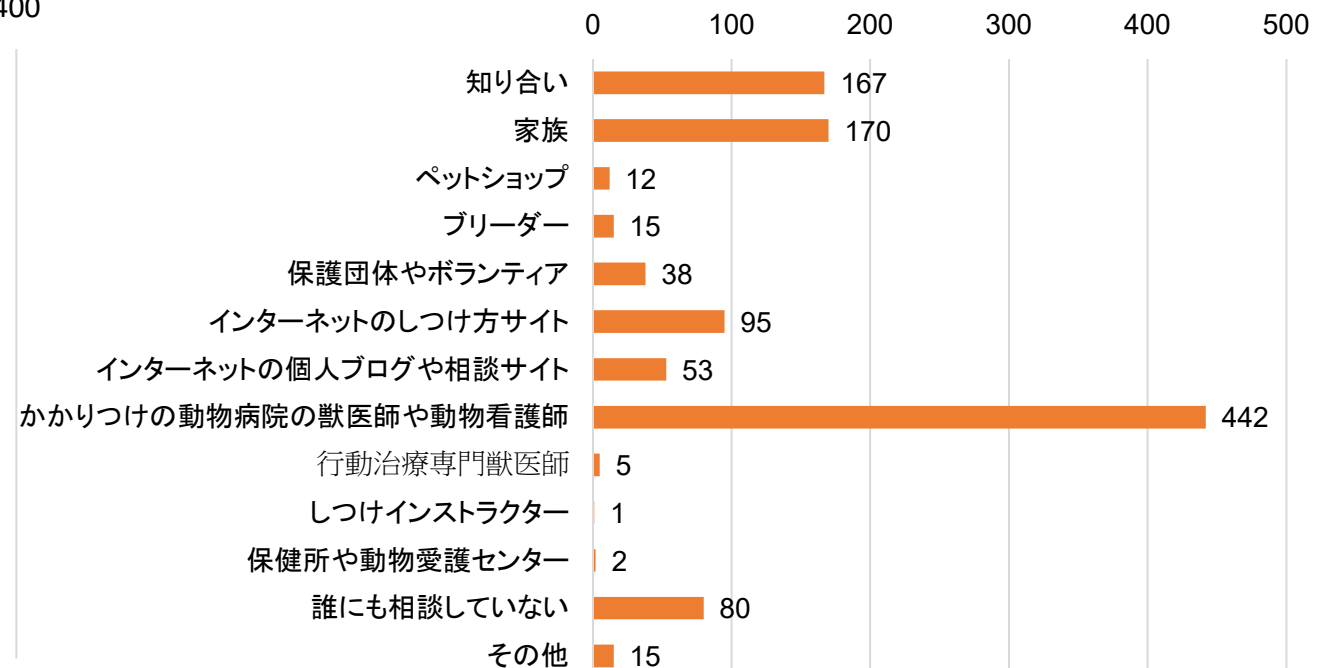
猫のしつけ方の知識はどこで得ますか？（複数回答可）

もし行動の問題があった時に誰に相談したいですか？（複数回答可）

猫のしつけ方の知識はどこで得ているか (n=643)



行動の問題があった時に誰に相談していますか？ (n=643)

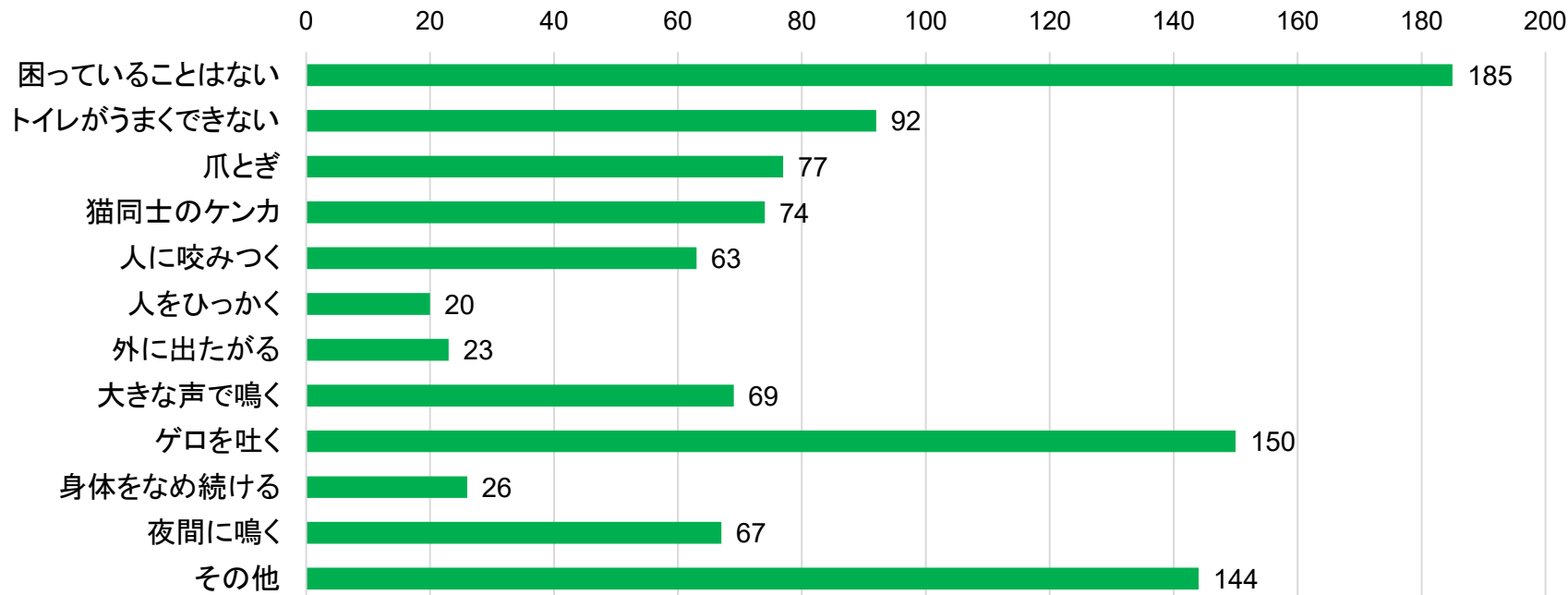


猫のしつけ方に関する知識はかかりつけの病院で得ている人が最も多く、1414個の回答のうち24%が病院から知識を得たいと思っている。また実際に問題行動があった場合も動物病院で相談したいと考える人が多い。

2.回答結果⑥

猫の行動のことで困っていることはありますか？（複数回答可）
困った行動を治したいと思ったことはありますか？

猫の行動のことで困っていること (n=643)

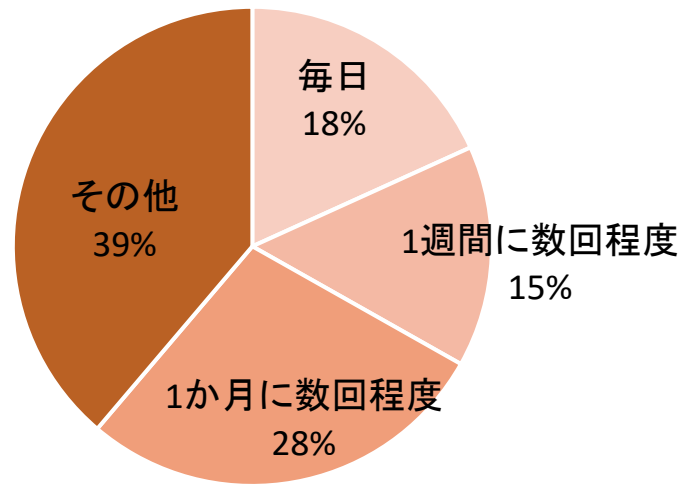


猫の行動のことで困っていることで多かったのは、嘔吐すること(15%)、次いでトイレの問題(9.3%)、ほかに爪とぎと猫同士の喧嘩が約8%ずつあった。その他の行動としては、PCの上に乗る、机に乗る、夜中に走り回るなどが挙げられた。困った行動があると考える人の中で308/643人がそれを治したいと回答している。

2.回答結果⑦

トイレ以外の場所で排泄することがありますか？
トイレ以外での排泄がある猫に関してうかがいます。トイレ以外の場所での排泄はどのくらいの頻度ですか？

排泄問題の頻度 (n=214)



トイレ以外の場所で排せつする行動は、643名の回答者数のうち、214名(32%)が「ある」と回答しており、214名の中で39名（18%）が毎日トイレの外で排せつしている行動があると回答した。

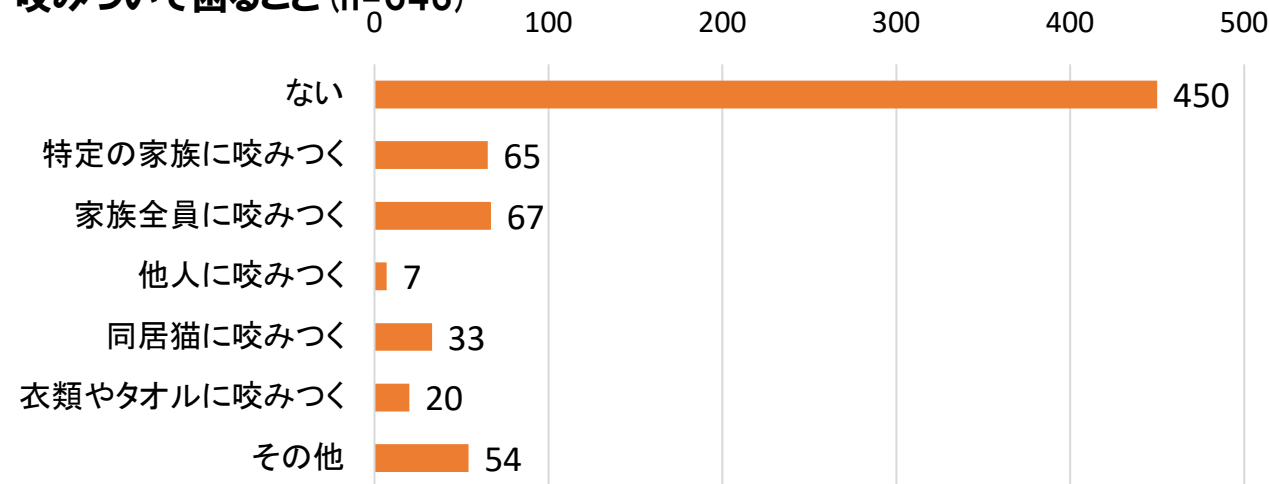
2.回答結果⑧

咬みついて困ることはありますか？（複数回答可）

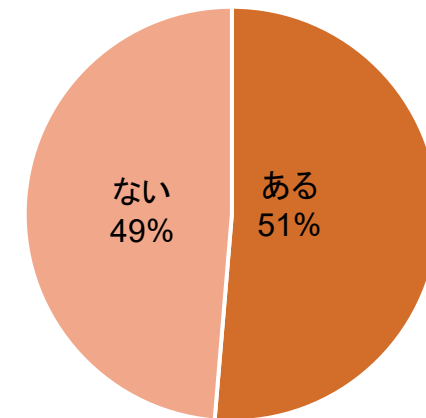
猫に咬まれたり引っかかれて傷が腫れたことがありますか？

猫の困った行動が原因で猫を手放したいと思ったことはありますか？

咬みついて困ること (n=643)



猫に咬まれたり引っかかれて傷が腫れたこと (n=643)

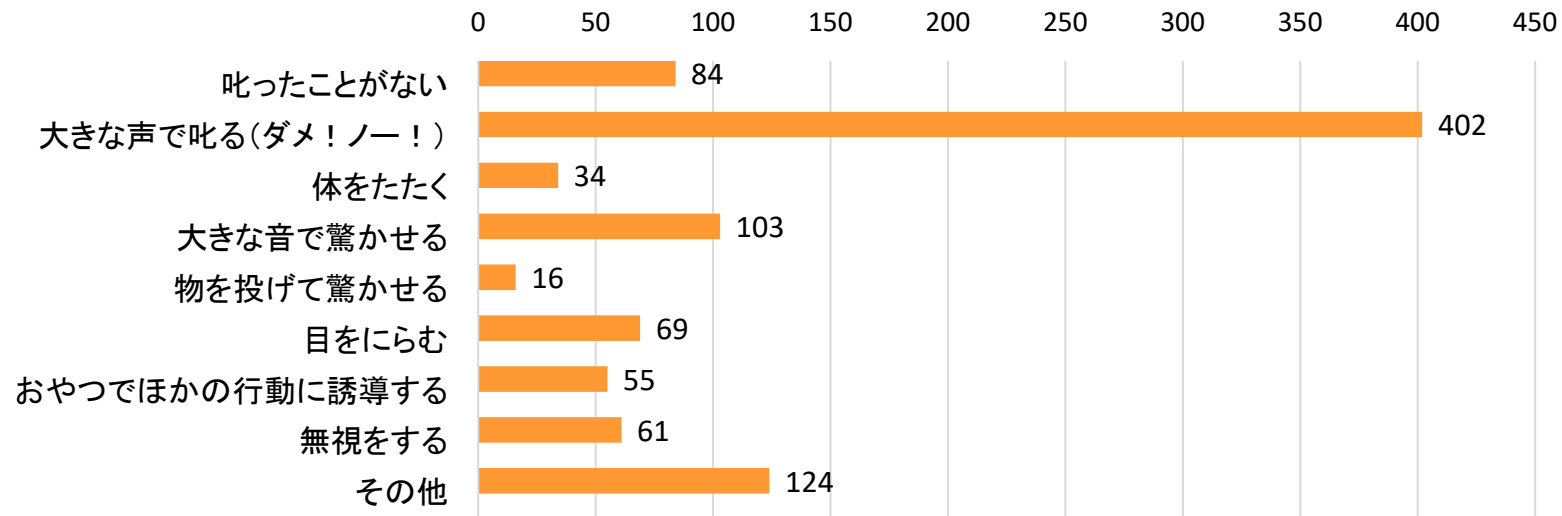


咬みつく行動に関しては、ほとんどの回答者がないと答えたが、家族に対する攻撃性も少なくない。猫にかまれたり、引っかかれたりして傷が腫れたことのある人は回答者数の半分以上を超え、51%(328名)であった。問題行動が理由で猫を手放したいと考えたことのある人は、17名(3%)で、猫の行動のせいで手放したいとまで考えざるを得ない人が3%なので、比較的多くいることが分かった。相談を受ける動物病院関係者は犬以上に猫の問題に対処できるスキルを持ったほうが良い。

2.回答結果⑨

猫がいたずらなどいけないことをした時、あなたはどうかやって叱っていますか？（複数回答可）

猫の叱り方 (n=643)



猫のしつけ、問題があった際のしかり方に関して質問をしたところ、ノーなどの大きな声を出して猫を驚かせて行動を中断させる方法が最も多くとられている。多くの問題行動の場合、猫が不安だったり葛藤や転嫁行動として問題行動を起こしていることが多い。あるいは、環境の不備で問題を起こしている場合が多いため、猫を驚かせて行動をやめさせる方法は結局問題を悪化させてしまうこと、正しい方法、正しく問題となっている行動の理由を知ってどう止めるかを理解してもらうことを今後動物病院を通じて猫の飼い主に伝えていくことが重要であろう。